

地域防災計画を なぜ見直せないか



小林 幸一



町長

多くの情報整理作業があるため

質問 地域防災計画・水防計画の見直しに取組めない理由は。

答弁 町長 広範囲にわたる情報について収集・整理する作業が発生するため、現時点では行っていない。

質問 計画の見直しにあたり、コンサルタントを入れるとの答弁があつたが、防災士や自主防災組織など地域の意見を取り入れる考えはないのか。

答弁 町長 改訂の具体的手法については、改訂作業を始める段階で検討したいと考えている。

質問 近隣の自治体でも、計画の見直しはできていないのか。

答弁 環境安全課長 近隣自治体では台風19号以降、見直し作業をしていることを確認した。

質問 国や県の方針がその都度変わつても、近隣自治体では見直しができている

もかわらず、町では見直しできていないのはなぜか。

答弁 環境安全課長 台風19号以降、目まぐるしく変化があつたことが原因で、見直しができなくなつたことは反省している。今後、地域防災計画の大幅な見直しを行い、その後はその都度小まめに改善をしていきたい。

質問 見直しまでのスケジュールを立ててみてはどうか。

答弁 環境安全課長 現在、業者とのヒアリングや見積書などから、来年度の予算要求用の資料を作成している。来年度の予算いかんで進めて



地域と連携できる行政が災害から住民を守る

いきたい。

質問 初期期に避難所の開設を行う町職員は決まっているのか。

答弁 環境安全課長 課ごとに避難所運営を行う職員を決めている。

介護事業所に対する相談窓口の設置を

質問 利用者等の理不尽な要求やクレーム（カスタマーハラスメント）に苦慮する介護事業所に対し、町の相談窓口体制を整備できないか。

答弁 健康福祉課長 介護事業所であれば介護保険係が担当し、事業所とともに解決を考えていく。顔の見える関係、信頼関係をしっかりと築いていき、相談しやすい体制を整えていきたい。

こんな質問もしています
・新型コロナウイルス感染症対策について

五料地内の 防災対策は



高橋 茂樹



町長

引き続き
調査研究を行う

質問 五料地区の防災公園計画については、これまでの間に、どのような調査研究を行ったのか。今後の進め方は。

答弁 町長 平成24年頃、区からの要望があり、平成27年に公園の位置や概要等を検討したが、公園整備及びアクセス道路などの整備に多大な費用がかかるため、現在まで具体的な進捗が図られていない。防災機能を保持した防災公園が実現できるか、引き続き調査研究を行う。

質問 五料飯倉地内の排水路の見直しは、どのように検討したのか。

答弁 町長 矢川樋管上流部冠水対策検討業務により、五料飯倉地内の配水系統を調査し、冠水対策をまとめた。案として五料飯倉地内の概ね県道綿貫篠塚線より北側からの排水について、ボックス水路を既設道路下に設置し、矢川へ排水する案が有効と思われる。今後、この案



五料地内の矢川樋管排水訓練の様子

について検証を行い、年次計画や事業手法も併せて研究する。

今後の工業団地造成計画は

質問 東部工業団地の拡張計画をどのように考えているか。

答弁 町長 事業化に向けた準備のため、今年度から調査を開始している。今年度は土地利用現況の整理や概略の土地利用計画案などを作成し、来年度以降に課題の整理やより

具体的な土地利用計画の検討を行う予定である。

町の未来を拓く交通網の整備を進める考えは

質問 東毛広域幹線道路において、高崎駅東口から伊勢崎市や太田方面にBRTまたは路線バスを通す運動を展開する考えはないか。

答弁 町長 群馬県が、新たな公共交通軸の位置づけとして、東毛広域幹線道路にBRT構想を計画していたが、整備効果と採算性に課題があることから、計画は一旦白紙となった。町としても交通広場を整備するなどBRT構想に期待していた。現状、整備は難しい状況であるが、沿線の市町村と情報共有し、協力しながら、群馬県に対して要望していきたいと考えている。

こんな質問もしています
・マイナンバーカードについて